

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2024年5月22日 水曜日

## Oracle Database 23ai Freeのユーザー・データ領域をAPEXで効率的に使用する

Oracle Database 23ai Freeでは、保存できるユーザー・データの上限は12GBとなっています。

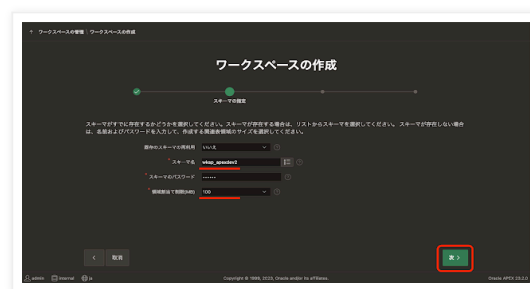
<https://www.oracle.com/database/free/#resources>

Oracle Database 23ai Free offers the ability to experience Oracle Database, which businesses throughout the world rely on for their mission-critical workloads. The resource limits for Oracle Database Free are up to 2 CPUs for foreground processes, 2 GB of RAM and **12 GB of user data on disk**. It is packaged for ease of use and simple download.

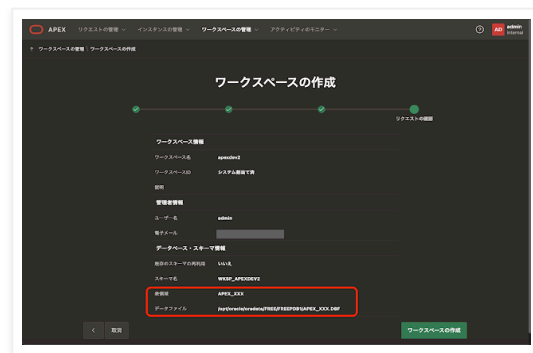
Oracle APEXをOracle Database 23ai Freeにインストールし、アプリケーションを開発することを想定します。

ワークスペースを作成するときに、同時にスキーマを作成できます。

以下の画面で作成するスキーマを指定します。



ワークスペースの作成にあたって確認画面にも表示されていますが、このときにスキーマの作成に加えて、新規に表領域も作成されます。APEXのワークスペースの**領域割当て制限**は、実際には表領域に含まれるデータファイルの最大サイズとして設定されています。



ビューCDB\_DATA\_FILESから、作成された表領域を構成しているデータ・ファイルの設定を確認します。

```
set pages 1000 lines 100
col tablespace_name format a22
col file_name format a60
col bytes format 999,999,999,999,999
col maxbytes format 999,999,999,999,999
col increment_by format 999,999,999,999
select tablespace_name, file_name, bytes, maxbytes, increment_by from cdb_data_files where con$name = 'FREEPDB1';
```

```
SQL> select tablespace_name, file_name, bytes, maxbytes, increment_by from
cdb_data_files where con$name = 'FREEPDB1';SQL> SQL> SQL> SQL> SQL> SQL>
```

TABLESPACE_NAME	FILE_NAME	BYTES	MAXBYTES	INCREMENT_BY
SYSTEM	/opt/oracle/oradata/FREE/FREEPDB1/system01.dbf	419,430,400	35,184,372,064,256	1,280
SYSAUX	/opt/oracle/oradata/FREE/FREEPDB1/sysaux01.dbf	838,860,800	35,184,372,064,256	1,280
UNDOTBS1	/opt/oracle/oradata/FREE/FREEPDB1/undotbs01.dbf	204,472,320	35,184,372,064,256	640
USERS	/opt/oracle/oradata/FREE/FREEPDB1/users01.dbf	5,242,880	34,359,721,984	160
APEX_2341617247827838	/opt/oracle/oradata/FREE/FREEPDB1/APEX_2341617247827838.dbf	1,048,641,536	10,485,825,536	128,000
APEX_2542543649405767	/opt/oracle/oradata/FREE/FREEPDB1/APEX_2542543649405767.dbf	10,551,296	104,923,136	1,280

6 rows selected.

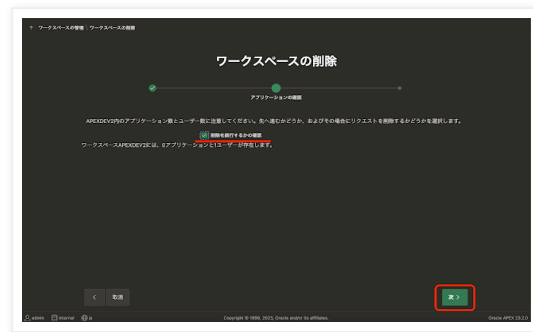
SQL>

上記の出力例では、表領域**APEX\_2341617247827838**は、領域割当てを**10GB**として作成したワークスペースに紐づいています。表領域**APEX\_2542543649405767**は、領域割当てを**100MB**として作成したワークスペースに紐づいています。

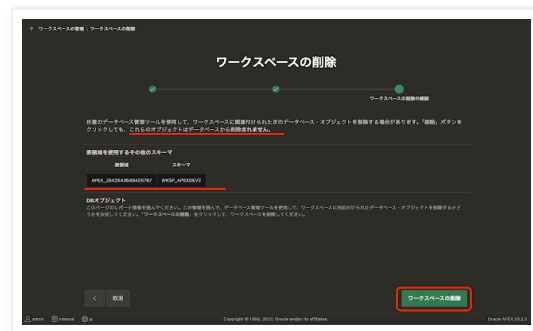
作成したAPEXのワークスペースは、管理サービスの既存のワークスペースの一覧画面から**削除**できます。



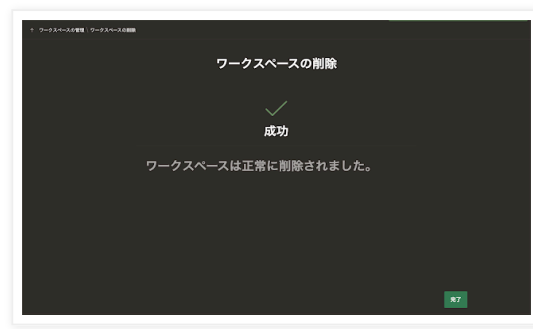
削除を続行するか確認にチェックを入れ、次へ進みます。



次のページに説明されていますが、APEXのワークスペースを削除しても、そのワークスペースに紐づいている表領域やスキーマは削除されません。



表領域やスキーマは手動で削除する必要があります。そうすることによって、ユーザー・データの領域を最大限活用できます。



表領域はUSERSだけを使用しあらかじめスキーマを作成しておく、APEXのワークスペースの作成や削除をするたびに、ユーザー・データの制限について意識する必要がなくなります。

```
alter session set container = freepdb1;  
create user wksp_apexdev default tablespace users no authentication;  
alter user wksp_apexdev quota unlimited on users;
```

```
bash-4.4$ sqlplus / as sysdba
```

```
SQL*Plus: Release 23.0.0.0.0 - Production on Wed May 22 02:34:32 2024  
Version 23.4.0.24.05
```

```
Copyright (c) 1982, 2024, Oracle. All rights reserved.
```

```
Connected to:  
Oracle Database 23ai Free Release 23.0.0.0.0 - Develop, Learn, and Run for Free  
Version 23.4.0.24.05
```

```
SQL> alter session set container = freepdb1;

Session altered.

SQL> create user wksp_apexdev default tablespace users no authentication;

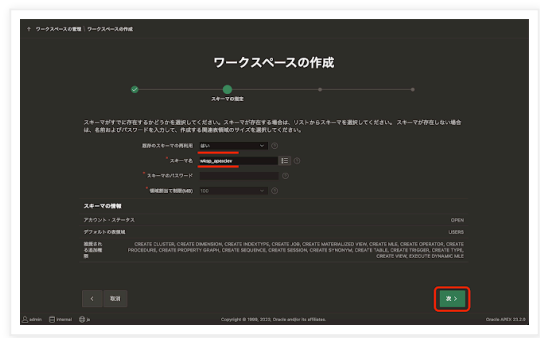
User created.

SQL> alter user wksp_apexdev quota unlimited on users;

User altered.

SQL>
```

既存のスキーマを再利用をはいとし、スキーマ名にあらかじめ作成したスキーマを指定します。APEXのワークスペースとして必要な権限は、ワークスペースを作成する際に追加されます。



ワークスペースの作成毎に表領域が作成されないため、制限されたユーザー・データの領域を最大限、有効に活用できます。

完

Yuji N. 時刻: 11:45

共有

ウェブ バージョンを表示

## 自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)